

平成 2 8 年 度 第 1 回

和 泉 市 都 市 計 画 審 議 会

参 考 資 料

和泉市都市計画マスタープランの改訂 作業概要

1. 和泉市都市計画マスタープラン策定委員会について

市民アンケートの結果や課題などの市民意見を踏まえ、調査及び審議を行い、都市計画マスタープラン改訂素案を市長に提言する機関です。学識経験者、関係団体の推薦者、関係行政機関職員、住民団体の推薦者、公募市民、市職員の19名で構成しています。

	開催日	主な内容
第1回	平成26年1月23日	・委員会の役割について ・委員長・副委員長の選任 ・都市計画マスタープランについて
第2回	平成26年3月28日	・現地視察会 ・和泉市のまちの現状について ・アンケート調査結果の速報について
第3回	平成26年6月2日	・和泉市の現状と課題について (1)基礎調査 (2)市民意向調査結果 (3)まとめ ・意見交換
第4回	平成26年11月26日	・第2次和泉市都市計画マスタープラン骨子案について ・意見交換
第5回	平成27年2月24日	・第2次和泉市都市計画マスタープラン素案検討資料について (全体構想・地域別構想) ・意見交換 ・意見照会の実施について ・今後のスケジュールについて
第6回	平成27年8月27日	・第2次和泉市都市計画マスタープラン素案検討資料について (全体構想・地域別構想・取組みテーマ別構想・都市計画マスタープランの実現に向けて) ・意見交換
第7回	平成28年2月24日	
第8回	平成28年6月8日	・第2次和泉市都市計画マスタープラン(案)について

2. まちづくりワークショップについて

都市計画マスタープランの地域別構想を作成するにあたり、地域に住まいの市民の声を活かした計画作りを行うため、地元意見の収集の場として開催したものです。各地域で3回開催しました。

	開催日	主な内容
第1回	平成26年9月2日 平成26年9月3日 平成26年9月10日	・テーマ【身近な地域の資源と課題を考える】 ・専門家による講演 「住民参加のまちづくり」 ・合計 112名参加
第2回	平成26年10月22日 平成26年10月28日 平成26年10月29日	・テーマ【身近な地域の10年後を考える】 【みんなで取り組むまちづくりを考える】 ・合計 92名参加
第3回	平成27年2月26日 平成27年3月3日 平成27年3月4日	・テーマ【地域のまちづくり方針(案)についての意見交換】 ・専門家の講演 「都市計画マスタープランと協働のまちづくりについて」 ・合計 67名参加

3. パブリックコメントについて

地域住民の意見や「和泉市都市計画マスタープラン策定委員会」での審議を踏まえ「第2次和泉市都市計画マスタープラン(案)」が概ね完成したことから、計画案を市民等に公表し、計画案に対して提出された意見・情報等を考慮して意思決定の手続きを経る必要があることから、パブリックコメントを実施しました。

意見等募集期間：平成28年4月11日～5月11日まで

意見等提出者数：個人 4名、団体 1団体

意見等提出件数：26件

4. 市民説明会について

パブリックコメントを実施する「第2次和泉市都市計画マスタープラン(案)」について、計画案を市民へ周知する必要があることから、市民説明会を開催しました。

開催日時：平成28年5月6日 午後7時から

開催場所：和泉シティプラザ 地下1階多目的室

参加人数：13名

平成27年度和泉市都市計画審議会 意見対応一覧

(第7回和泉市都市計画マスタープラン策定委員会資料より一部抜粋)

ページ (変更後)	項目	変更前 (平成27年度和泉市都市計画 審議会報告資料)	変更後 (平成28年度和泉市都市計画 審議会議案書)	変更の理由
36	(3) 都市・自然環境 及び歴史文化遺産の方 針 ②基本方針 3) 農地の保全・活用 8行目	休耕地については、意欲ある農 業者への・・・	休耕地については、営農環境づ くりを進めつつ、意欲ある農業 者への・・・	和泉市都市計画審議会委員より、休耕地の原因として、 営農環境が整っていないため農業がしたくても出来ない といった現状があることを踏まえ、内容を検討するべき であるという意見があったため、内容を再度整理した。
45	(5) 市街地・集落及 び寿環境の方針 ②基本方針 8)	8) オールドタウン化対策の推 進 ニュータウンや住宅団地など の一部については、住民の高齢 化や人口減少などが進みオー ルドタウン化しつつあること を踏まえ、空き家対策など・・・	8) ニュータウンなどの高齢 化・人口減少対策の推進 住民の高齢化や人口減少など が進行しつつあるニュータウ ンなどの一部については、空き 家対策など・・・	和泉市の都市計画マスタープラン上、「ニュータウン」 の定義を大規模宅地開発区域（新住宅市街地開発事業以 外のまとまった住宅開発地域も含む）が行われた地域と した場合、都市計画マスタープランがこれからの20年 の指標となるのであれば、ニュータウン以外の住宅地や 住宅団地もオールドタウン化対策が必要であると考えら れるため、全体構想では「ニュータウン」という限定的 な言葉ではなく、「ニュータウンなど」としたもの。 なお、本資料内において「オールドタウン」という表 現を使うことに違和感を持つといった意見が和泉市都市 計画審議会委員よりあったことから、「高齢化・人口減少」 という表現に置き換えた。以降のページも同様に整理。

平成27年度和泉市都市計画審議会 意見対応一覧

(第7回和泉市都市計画マスタープラン策定委員会資料より一部抜粋)

ページ (変更後)	項目	変更前 (平成27年度和泉市都市計画 審議会報告資料)	変更後 (平成28年度和泉市都市計画 審議会議案書)	変更の理由
59	④地域の課題 2) 都市基盤・住環境 の課題	・・・予想されることから、オールドタウン化への対策が必要です。	・・・予想されることから、対策が必要です。	本資料内において「オールドタウン」という表現を使うことに違和感を持つといった意見が和泉市都市計画審議会委員よりあったことから、「オールドタウン」という単語を削除。高齢化や空き家の増加への対策が必要という意味は読み取れるため、問題ないとする。
61	⑥まちづくりの方針	イ 地域の活動拠点となる北部リージョンセンターをめざします ・地域住民が集い、親しみの持てる場として整備し、住民による交流のための活動の拠点として機能させていきます。	イ 北部リージョンセンターを市民拠点として充実します ・北部リージョンセンターは、市民活動拠点としての機能を有しており、あらゆる世代が気軽に利用できる施設です。今後も本施設の周知・アピールを行い、さらなる北部地域住民の活発な活動を促進し、本施設の持つ機能を十分に発揮させるための取組みを行います。	和泉市都市計画審議会委員より、「北部リージョンセンターは平成27年7月にオープンしているのに、『めざします』という表現を再考してみては？」と意見があった。公民協働推進室と調整し、内容を再度整理した。

平成27年度和泉市都市計画審議会 意見対応一覧

(第7回和泉市都市計画マスタープラン策定委員会資料より一部抜粋)

ページ (変更後)	項目	変更前 (平成27年度和泉市都市計画 審議会報告資料)	変更後 (平成28年度和泉市都市計画 審議会議案書)	変更の理由
61	⑥まちづくりの方針 ウ 住民の高齢化が進む住宅団地において、より快適な生活環境を整えていきます	・・・空き家対策や買い物難民対策などのオールドタウン化対策を検討します。	・・・空き家対策や買い物難民対策などを検討します。	本資料内において「オールドタウン」という表現を使うことに違和感を持つといった意見が和泉市都市計画審議会委員よりあったことから、「オールドタウン」という単語を削除。高齢化や空き家の増加への対策が必要という意味は読み取れるため、問題ないとする。
83	⑥まちづくりの方針 エ ニュータウンなどの計画的な住宅地では、良好な住環境の維持向上のための取組みを進めます	住民の高齢化や人口減少などが進む、光明台や青葉台、緑ヶ丘などの住宅地では、・・・	住民の高齢化や人口減少などが進むニュータウンでは、・・・	和泉市都市計画審議会委員からの意見を踏まえ、具体的な地名を記載せず、まとまった住宅開発地域を表す「ニュータウン」という表現で再度整理した。 なお、地域別構想「中部地域」においては、特にニュータウン地域において本内容が課題であるとの声が強かったため、「ニュータウンなど」という表現ではなく「ニュータウン」としたものの。
83	⑥まちづくりの方針 エ ニュータウンなどの計画的な住宅地では、良好な住環境の維持向上のための取組みを進めます	・・・地区の状況に応じたオールドタウン化対策を検討します。	・・・地区の状況に応じた対策を検討します。	本資料内において「オールドタウン」という表現を使うことに違和感を持つといった意見が和泉市都市計画審議会委員よりあったことから、「オールドタウン」という単語を削除。高齢化や空き家の増加への対策が必要という意味は読み取れるため、問題ないとする。

平成27年度和泉市都市計画審議会 意見対応一覧

(第7回和泉市都市計画マスタープラン策定委員会資料より一部抜粋)

ページ (変更後)	項目	変更前 (平成27年度和泉市都市計画 審議会報告資料)	変更後 (平成28年度和泉市都市計画 審議会議案書)	変更の理由
87	まちづくり方針図	光明台や青葉台、緑ヶ丘などでの オールタウン化対策	ニュータウンの地区の状況に 応じた高齢化・人口減少対策	<p>和泉市都市計画審議会委員からの意見を踏まえ、具体的な地名を記載せず、まとまった住宅開発地域を表す「ニュータウン」という表現で再度整理した。</p> <p>なお、地域別構想「中部地域」においては、特にニュータウン地域において本内容が課題であるとの声が強かったため、「ニュータウンなど」という表現ではなく「ニュータウン」としたもの。</p>